

大形コンベヤチェーン&スプロケット の取扱

所要時間：約5分

コンベヤチェーン&スプロケットは
定期的な点検・メンテナンスが必要です
点検・メンテナンスを怠ると切断等の
事故につながる恐れがありますのでご注意ください

1. コンベヤチェーン・スプロケットの**交換の目安**
2. **点検**について
3. **メンテナンス**について

1. 定期的な点検・交換を

チェーン・スプロケットは、消耗品ですので
定期的な点検・交換が必要です



2. 定期的な潤滑を

適正な潤滑を行うことで、
チェーンの寿命を延長することができます



3. 環境条件に適した選定と据付作業を

過大な張力・腐食など環境条件によっては
チェーンが**切断**することがあります

心出し不良などもチェーンの寿命に影響します



4. 部品の追加加工は厳禁です

ピンの抜き差しを簡単にするため、**プレート孔を拡大**したり

ピンの外径を削ったりしますと、チェーンの性能が

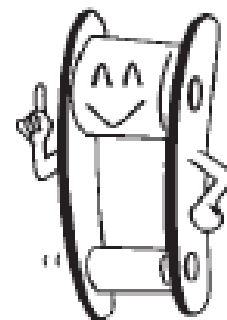
著しく低下し、思わぬ**事故の原因**になります



大形コンベヤチェーン・スプロケットの**交換の目安**

大形コンベヤチェーンの寿命は**部品が損傷**する、
または、**摩耗伸び**が**2.0%**を超えたときです

コンベヤチェーンの取替が必要な
状態を以降のページで説明いたします



1. チェーンの摩耗伸び

- (1) チェーン全体のたるみを取り除くために、**引張った状態**で測定します。
- (2) **できるだけ多くの偶数リンク(少なくとも4リンク以上)**で測定してください。

AまたはBの長さを**測定寸法**とします

A : ピンの中心から中心まで

B : ピンの一端から一端まで

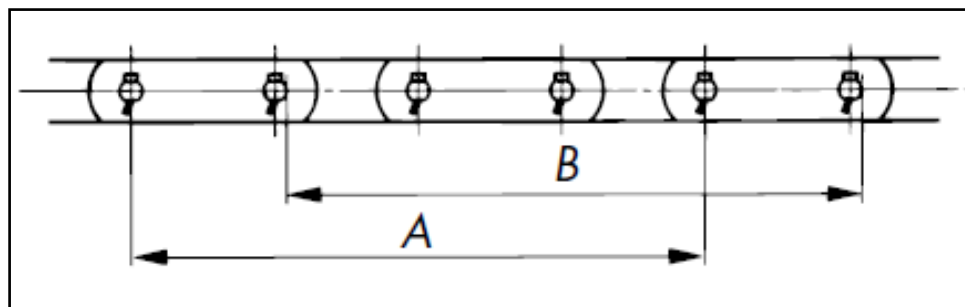


図 測定寸法

- (3) チェーンの**摩耗伸び**は次の式で求めます (基準長さ=測定リンク数×チェーンピッチ)

$$\text{チェーンの摩耗伸び} = \frac{\text{測定寸法(AかB)} - \text{基準長さ}}{\text{基準長さ}} \times 100(\%)$$

- (4) **摩耗伸びが2%を越えている場合は、チェーン交換のタイミングです**

2. Rローラ・Fローラ

ローラ外周部、およびブシュとの摺動部分の摩耗によって
プレートの下面がガイドレールに当たり始めた時が寿命です

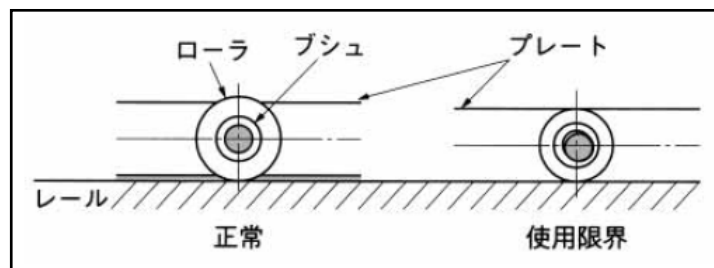


図 R・Fローラの使用限界

3. Sローラ・Mローラ・Nローラ

摩耗によって**ローラ肉厚が残り40%**になった時が**寿命**です

4. ブシュ

摩耗によって**ブシュ肉厚が残り40%**になった時が**寿命**です
 (外観からは点検できません)

5. プレート

プレート相互間の摺動、およびローラ側面とプレート内面との摺動により、下図(左)の ① ② のような摩耗が生じます
 摩耗量がプレートの**板厚の1/3**に達した時が寿命です

また、プレートが直接輸送物、あるいは鉄板の上を滑る場合には
 下図(右)のようにプレートの**板幅の1/8**が摩耗した時が寿命です

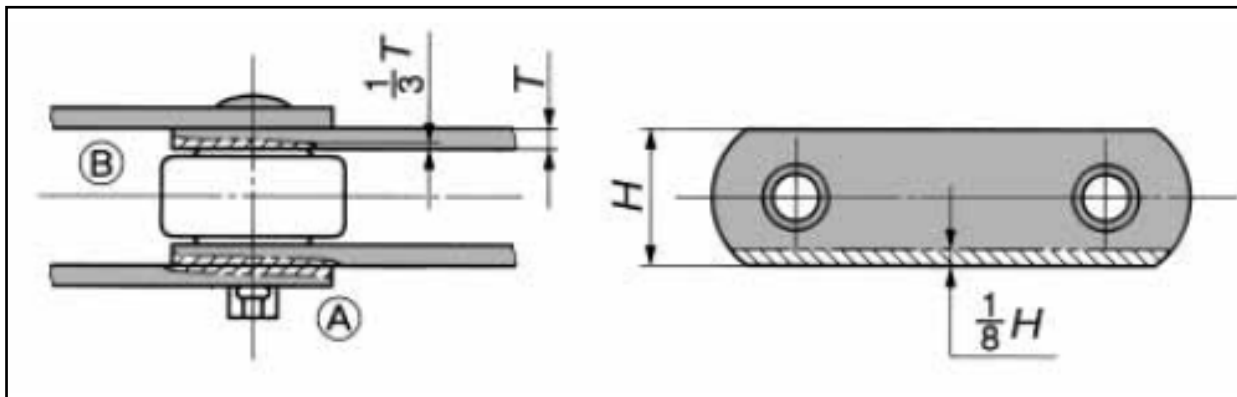


図.プレートの摩耗

6. スプロケット

スプロケット歯部が摩耗した状態でチェーンが噛み合うと、
チェーンの摩耗が速くなる場合があります

スプロケットの**摩耗限界**は、

歯面が3～6mmもしくは**側面の厚みの1/5**が摩耗した時です

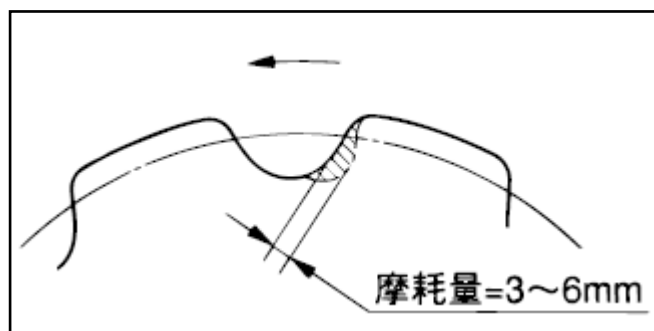


図. 歯面の摩耗

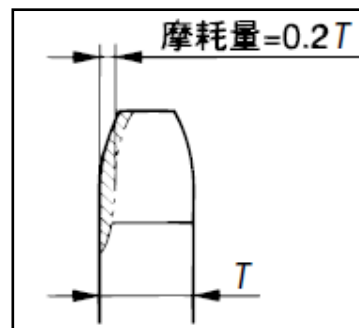


図. 歯の側面の摩耗

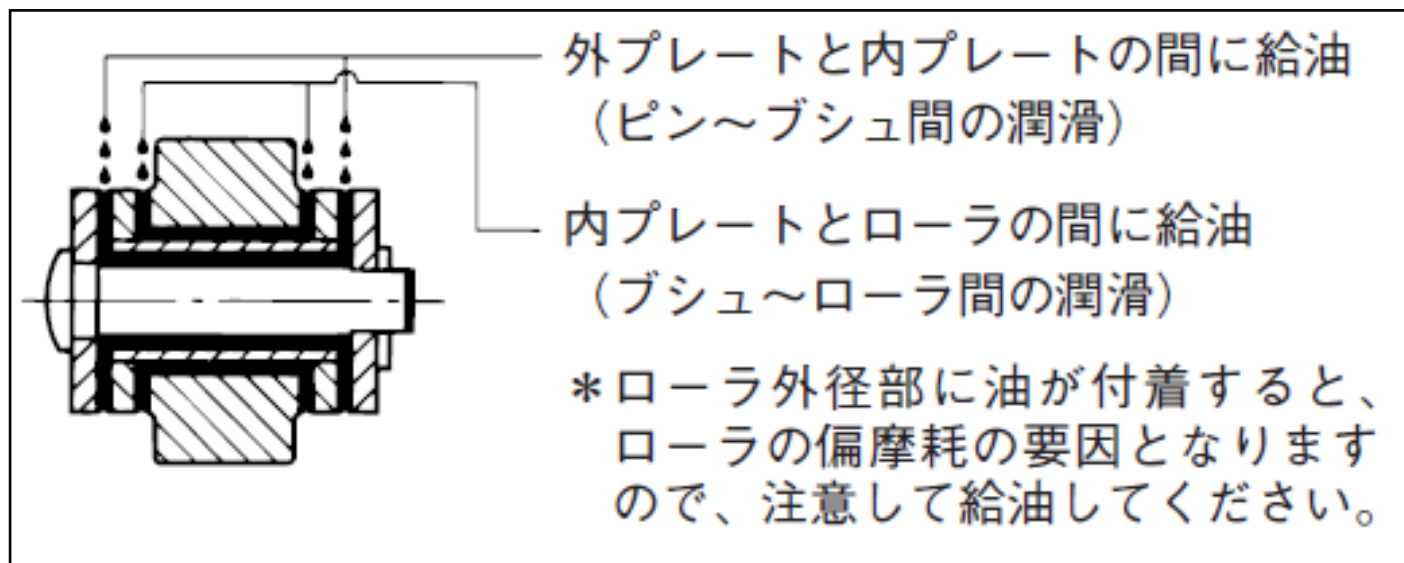
歯底が摩耗している場合に

反転して使用することは避けてください

チェーンを長期間ご使用いただくために、
給油を**1週間に1回程度（目安であり使用条件により異なります）**
行ってください

適切な給油によりチェーン各部の摩擦を抑え、
腐食(錆)を抑制することができます

ピン~ブシュのスキマに潤滑油の滴下またはハケ塗りしてください
当社推奨潤滑油はISO VG100-VG150 (SAE30-40)です



お客様問合わせ窓口

【チェーン】 TEL (0120)251-664

【スプロケット】 TEL (0774)43-8911

【ケーブルベヤ】 TEL (0120)628-289